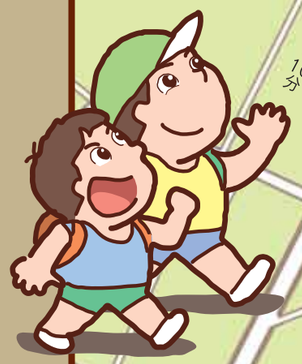
宇佐神宮と国東半島を世界遺産にしましょう。

神仏習合の里散策マップ
宇佐神宮周辺



15 史跡公園宇佐風土記の丘 県立歴史博物館

約20haの宇佐風土記の丘は国指定史跡の前方後円墳群を中心にした公園です。その中にある博物館では、宇佐・国東半島をはじめとする県下の歴史と文化財を展示しています。

凶首塚古墳（きょうしゅづか こふん）

6世紀末頃に造られた古墳の石室。 8世紀に起きた放生会に関する伝承では、隼人の首を埋めた塚とされています。

9 百体神社（ひゃくたいじんじゃ）

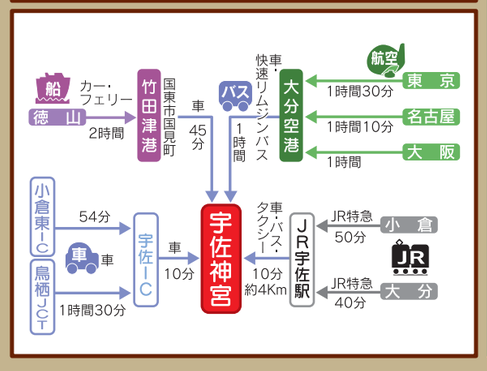
奈良時代の南九州での反乱の際、宇佐八幡神が神軍を率いて鎮圧した、大隅日向の隼人の御霊を祀る古社です。現行の仲秋祭では、宇佐神宮の宮司が拝礼を行います。

化粧井戸（けしょういど）

宇佐神宮がある盆地は、「宮中(ぐうちゅう)」と呼ばれる聖域でした。その入り口に設けられた清めの井戸と考えられます。

放生会では傀儡(くぐつ)人形を洗ったとされています。

宇佐神宮への交通アクセス



2 宝物館・参集殿（ほうもつかん・さんしゅうでん）

県内最古(鎌倉時代)の臨済宗寺院。開祖の神子栄尊は宇佐宮境内にあった弥勒寺の復興に尽力した為、宇佐宮はこのお寺を神宮寺としました。円通寺の参道の延長上に宇佐神宮の表参道があるのも、両者の密接な関係(神仏習合)を物語っています。

11 円通寺（えんつうじ）

12 大楽寺（だいらくじ）

高野山真言宗。宇佐宮大宮司の到津氏が1333年に到津家の菩提寺と後醍醐天皇の勅願寺として創建。本堂には弥勒仏・脇侍・四天王の諸像が7体揃って安置されており、全てが国の重要文化財に指定されているのは県内ではこのお寺だけです。

13 極楽寺（ごくらくじ）

浄土真宗本願寺派。昭和の大造営により宇佐宮境内から現在地に移転。本尊の阿弥陀如来立像は宇佐宮境内の大弐堂(太宰府の次官が寄進、現・絵馬殿付近)より、丈六の弥勒大仏は弥勒寺の講堂から移されました。

14 大善寺（だいぜんじ）

曹洞宗。禅堂の薬師如来坐像(国指定重要文化財)は、明治時代の神仏分離により宇佐宮の弥勒寺の金堂から移されました。他にも日光・月光菩薩等が伝えられています。

10 勅使街道（ちょくしかいどう）

呉橋からまっすぐ西にのびる道は、勅使道と呼ばれました。即位奉告や国家の大事に際しては、宇佐宮に天皇の意思を伝える勅使が遣わされました。道沿いには百体神社などがあります。

6 呉橋（くれはし）

県有形文化財

5 西参道

3 上宮

4 下宮

1 表参道駐車場（有料）

1 八幡駐車場（有料）

1 外苑駐車場（有料）

参拝者専用駐車場 1

宇佐神宮の情報

宇佐神宮（境内無料）
開閉門時間　6:00～18:00

宝物館　（大人300円、中・高校生200円、小学生100円）
営業時間　10:00～15:00
開館日　日曜・祝日

八幡駐車場（有料）[200台]

大型・中型車	各1,500円
マイクロバス	1,000円
普通車	400円
二輪車	100円

表参道駐車場（有料）[200台]

普通車	400円

外苑駐車場（有料）[150台]

普通車	300円

ウラ面に拡大図

おすすめモデルコース

神宮周辺お寺めぐりコース	徒歩2時間	1 各駐車場 → 観光案内所 → 3 宇佐神宮 → 11 円通寺 → 12 大楽寺 → 13 極楽寺 → 14 大善寺
勅使通りコース	徒歩3時間	1 各駐車場 → 観光案内所 → 10 宇佐勅使街道 → 9 百体神社 → 8 凶首塚古墳 → 7 化粧井戸 → 4 下宮 → 3 上宮 → 2 宝物殿 → 5 西参道 → 6 呉橋 → 10 宇佐勅使街道
神宮～風土記の丘コース	徒歩4時間 車2時間	1 各駐車場 → 観光案内所 → 3 宇佐神宮 → 12 大楽寺 → 15 風土記の丘・県立歴史博物館

宇佐市観光ガイド（要予約）

研修を重ねたガイドが宇佐市の歴史と文化を詳しく案内してくれます。本紙には載っていないおもしろスポットにも案内してくれるかもしれません。

ガイド料（20名以内）　2時間以内　3,000円
2時間以上　5,000円

お問い合わせ　宇佐市観光協会
TEL 0978-37-0202

＊観光のお問い合せ＊

宇佐市観光協会
TEL 0978-37-0202

宇佐市 観光・ブランド課
TEL 0978-27-8171

宇佐神宮
TEL 0978-37-0001

凡例：車イス利用可トイレ／多目的トイレ／現金自動支払機／病院／バス停

この地図は、国土地理院発行の2万5千分1地形図を参考に作成しました。